

## 平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「オラカベッサ公立小学校通学バス整備計画」贈与契約署名式

2018年1月10日、山崎大使は、首相官邸にて行われた、平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「オラカベッサ公立小学校通学バス整備計画」の贈与契約署名式に出席しました。

1846年に小中一貫校として設立された本校は1973年より公立小学校に再編され、現在ではセント・メアリー県内トップレベルの成績を誇る人気校となっています。本校は、半数以上を占める山間部に居住する児童の通学に問題を抱えていました。山間部から本校に向かう公共交通機関の本数が少ないために授業に遅刻してしまう児童数が多く、低所得層の家庭出身の児童は公共交通機関の運賃が捻出できない日は学校を休んでしまいます。本校は年間を通して活発にスポーツなどの課外活動を行っていますが、低所得層の児童は交通費が捻出できずに参加を諦めているため、児童間で教育機会の格差が生じています。

このプロジェクトで67,515米ドルが供与されることにより、学校は通学バスを整備することができます。通学バスを導入することで、全ての児童が安全に毎日学校に通学できるようになり、また、費用の問題で参加を諦めていた児童も課外活動に参加できるようになることが期待されています。

当日の署名式へは、ルエル・リード教育・青年・情報大臣、地元選出議員のロバート・モンテギュー国家安全保障大臣、マーシャ・フィリップス＝ドーキンス国家教育基金事務局長を始めとする教育省・国家教育基金関係者、トヨタジャマイカ社、報道機関など約20名が出席しました。本校のデイビス校長始め出席者は本校の児童の教育環境を改善する日本政府からの援助に対し謝意を述べました。

リード教育・青年・情報大臣は、ジャマイカ全土において通学バス整備が必要とされている状況を何度も強調しながら、本校への援助を含め、日本の政府及び人々からのジャマイカの教育に対する継続的な支援に感謝を述べました。

山崎大使は、オラカベッサ公立小学校の通学バス整備に貢献できることへの喜びとともに、今後もジャマイカにおいて日本政府は草の根資金援助やJICAのボランティア活動を通してジャマイカの支援を続けていく旨を述べました。



(写真左) 国家教育基金ハリス資金調達マネージャー (左) から開式の挨拶  
 (写真右) 感謝を述べるグレゴリー・デイヴィス校長 (真ん中)



(写真左) 本使挨拶 (真ん中)  
 (写真右) リード教育・青年・情報大臣挨拶 (真ん中)



(写真左) モンテギュー国家安全保障大臣、リード教育・青年・情報大臣の立会いの下  
 署名をする本使とデイヴィス校長  
 (写真右) 小切手の引渡し